

健ちゃんの平飼卵

知的障害のある人たちが農業を通じて生きがいと収入をと設立されたファームががわ、多田健治くんが、毎日元気よく鶏の世話をしている様子。

元気な卵には工夫があります



元気な鶏になって喜んでもらえる美味しい卵をと一所懸命な“健ちゃん”、いいと聞いたらすぐチャレンジします。えさには、竹炭(粉末) ココ(碎片)を混ぜています。それに、知り合いの漁師さんにもらいにいく牡蠣殻も自分で砕いて与えています。料理屋さんで使った後の昆布もいただいて小さく切って加えているから、鶏は元気いっぱい走りまわっています。工夫いっぱいの“健ちゃんの平飼卵”、《ぜひ応援して下さいね》

のびのび育った 平飼いたまご

鶏は本当に自然に近い状態でのびのび暮らす。飼料のとうもろこしは遺伝子組替の心配なし。抗生物質やホルモン剤も使用なし。卵黄の色が卵ごとに少しずつ違うのは平飼いで育てられ、自分たちでえさをつまんでいるから。まさに元気色！
こちら産み立てを無洗浄でお届け！



松本さんちの烏骨鶏卵

< 烏骨鶏専業 40 年以上
今 6000 羽を超える >

神秘の鳥「烏骨鶏」の力をお届け！！烏骨鶏は、皮・骨・肉・内臓までが紫黒色、真白の羽毛を持つ見た目にも神秘的な鶏。幻の薬用鶏として中国王侯貴族が薬膳として賞味していたという。卵黄はふつうの卵の数倍の栄養。「地球上で唯一のアルカリ性動物」であり、年間に 60～70 個程度しか産卵数がなく、幻の卵とも。

